



2・3月に市内で行われたイベントについてお知らせします



子どもたちも笑顔で全力投球!

2月11日(日・祝)、上三依公民館前で第10回三依杯雪合戦大会が開催されました。この大会は、高齢化集落の活性化のため、三依地区で活動を行っているNPO法人宇都宮まちづくり市民工房が中心となり、地元自治会などと毎年開催しています。

試合は、6名1チームで雪玉を投げ合い、相手チームのゴールにある5枚のボードを射抜く速さを



「ゴールは絶対守る!」

競います。

数日前まで降った雪も落ち着き、晴天に恵まれた今回は、13チームが参加し、寒さに負けない白熱した試合を繰り広げました。

実行委員会代表の平出<sup>ひらい</sup>さんは、「今回は、宮城県や埼玉県などの遠方からも参加してくれたチームがあり、毎年盛り上がりつつある」と話すが、とてもうれしそうです」と話してくれました。

ゆきあかり  
**奥日光湯元温泉雪灯里**



幻想的な雰囲気のある会場

2月9日(金)～15日(木)、湯元園地特設会場で「奥日光湯元温泉雪灯里」が行われました。

このイベントは、日本夜景遺産に認定されており、会場には約500個のミニかまくらが並び、一面の白銀の世界で、青色の光が幻想的な雰囲気を作り上げていました。

訪れた人は、寒さも忘れて美しい景色を楽しんでいました。

ぼたん  
**牡丹室内庭園**



約100種類の牡丹が会場を彩る

2月15日(木)～25日(日)、牡丹室内庭園が道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣多目的ホールで開催されました。

会場は、日光の自然をテーマに奥日光の湿原を連想するシラカバの木なども飾られ、約100種類300鉢の牡丹が展示されました。

訪れた人たちはさまざまな色や形の美しい牡丹に見とれていました。



大勢の人でにぎわう花市

2月11日(日・祝)、JR今市駅前通りで花市が行われました。この日は晴天に恵まれ、縁起物のたるまや熊手などの露店が並び、大勢の来場者でにぎわいました。

また、第18回全日本しもつかれコンテストが道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣多目的ホールで開催され、開場前から多くの人が行列を作り、約650名が来場しました。

**今市花市・全日本しもつかれコンテスト**



慎重に審査に臨む人たち

市内外から、26名が自慢のしもつかれを出品し、その味を競い合いました。今回は宇都宮市の坂寄<sup>さかよ</sup>悦男<sup>えつお</sup>さんが最優秀賞の「第18代鉄人」に選ばれました。

今回が3回目の来場という宇都宮市の富川<sup>とみかわ</sup>さんは「今回のしもつかれは、どれも味が個性的でした。どのしもつかれにも特徴があり、審査が難しかったです」と話してくれました。



### 春節祭



心地よい太鼓のリズムに人が集まる

2月17日(土)・18日(日)、鬼怒川温泉駅前広場で春節祭が開催され、来場者でにぎわいました。

ステージでは、足尾和太鼓チーム「銅」の演奏をはじめ、芸達者な猿が笑いを誘う「猿まわし」、鬼怒川ヤングオーナーズクラブ鬼祭會による神輿の渡御などが会場を盛り上げました。

一方、ステージの周りでは、「年越しグルメ日光蕎麦」の提供の他、餃子、ヤマメの塩焼き、栃木和牛の串焼きなどのグルメの販売に行列ができていました。

また、書初めや射的、忍者手裏剣体験などの文化体験には子どもだけではなく、大人も挑戦し、歓声をあげて楽しんでいました。

偶然、家族で立ち寄った今野さん(宇都宮市)は、「こんなに楽しい祭に出会えてラッキー。おそばもおいしかった」と話していました。



雪がチラつく中、鬼祭會の気合の渡御



郷土センターに飾られたおひなさま



山澤先生の講演には40名以上が聴講

**日光鉢石宿のおひなさま**  
平成18年にスタートし、恒例となった鉢石宿のおひなさまが、2月11日(日)・祝(3月3日(土))に開催されました。JR日光駅から神橋辺りを中心に日光地域各所で、年代物の貴重なおひなさまや段飾り、オリジナルのものなどが、約140軒の商店や個人宅に飾られました。日光郷土センターでは、土曜・日曜日に「着せ替えおひなさま体験」をはじめ、18日(日)に「おひ

なさまコンサート」、25日(日)は呈茶席が設けられました。24日(土)には、筑波大学の山澤学准教授を講師に迎え、「日光山の両大師講一元三大師・慈眼大師の信仰」をテーマに、日光にゆかりのある二人の大師や民間信仰などについて講演が行われました。市内在住の柳田さんは、「先生のわかりやすいお話で、「講」について理解できました」と話していました。



ライトアップされた黒川神社

**黒川神社ライトアップ**  
2月24日(土)、小来川の黒川神社のライトアップが行われました。小来川の地域おこしを目的に結成された「小来川のみらいをテラス会」が実施しました。ライトアップされた、黒川神社を見ようと会場には約300名が来場し、幻想的な雰囲気を楽しんでいました。また、地元の特産品を使った甘酒や豚汁などが振る舞われました。



美しい歌声を披露する演奏者

**日光国際音楽祭声楽コンクール**  
3月3日(土)、日光総合会館大ホールで第3回日光国際音楽祭声楽コンクールが開催されました。冒頭、下司愉宇起実行委員長が「予備審査の選考から難儀しました。レベルの高いコンクールになると思います」とあいさつ。厳しい審査を通過した30名の演奏者が、日頃の鍛錬の成果を披露し、コンクールに挑みました。